



小売のアーキテクチャ図

AWS での CPG、B2B、および DTC 用の Digital River



AWS での CPG、B2B、および DTC 用の Digital River: 小売のアーキテクチャ図

Copyright © 2026 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは Amazon 以外の製品およびサービスに使用することはできません。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使用することもできません。Amazon が所有していないその他のすべての商標は Amazon との提携、関連、支援関係の有無にかかわらず、それら該当する所有者の資産です。

Table of Contents

CPG 用 Digital River i

Digital River コマースプラットフォーム図 1

詳細情報 2

図の履歴 2

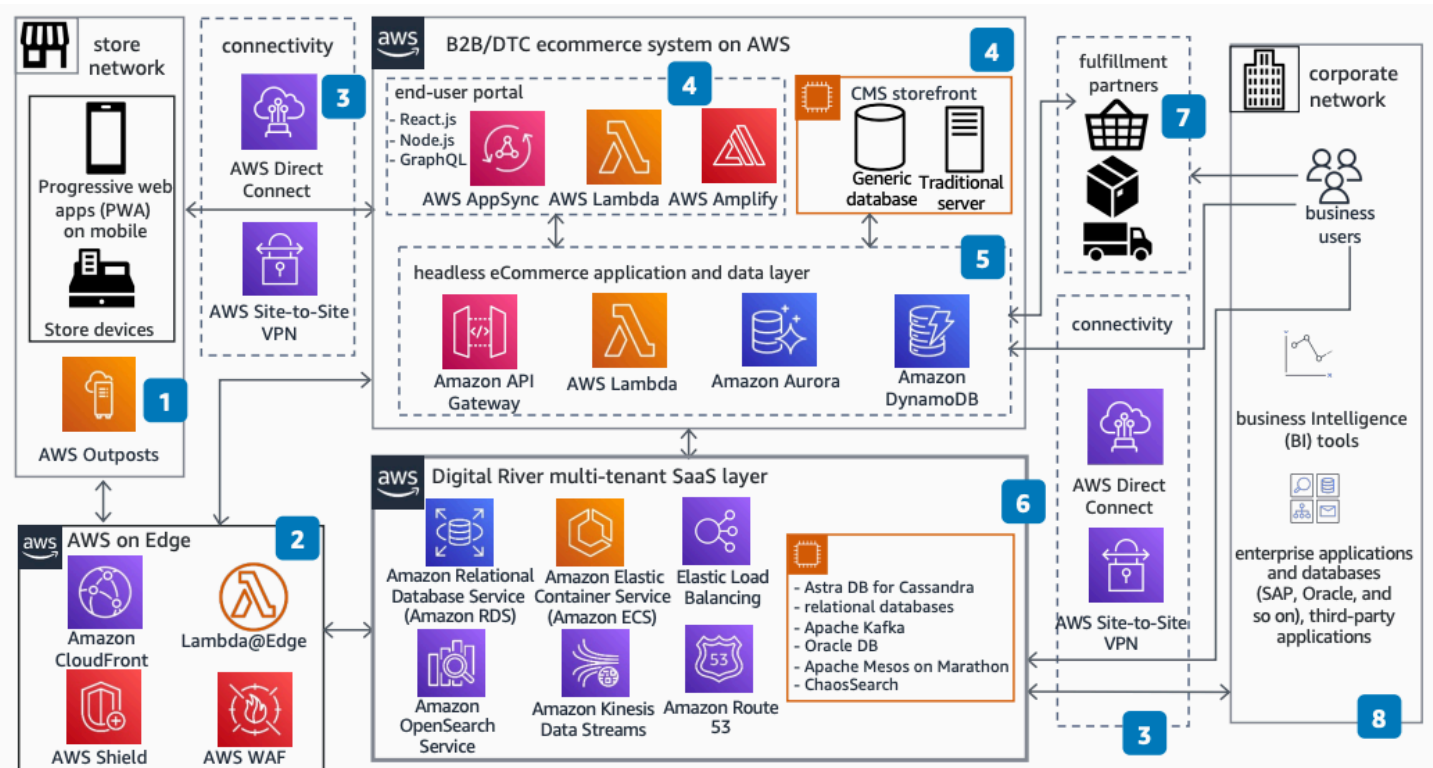
..... iv

AWS での CPG、B2B、および DTC 用の Digital River

公開日: 2022 年 3 月 28 日 ([図の履歴](#))

このアーキテクチャでは、コンシューマーパッケージ商品 (CPG) 企業がすべてのオンラインコマースアクティビティを管理します。CPG 企業は、国内外のさまざまな販売チャネルに移行するため、e コマースオペレーションの摩擦を軽減するための堅牢なソリューションが必要です。Digital River は、order-to-cashまでのプロセス AWS で実行されるall-in-oneソリューションを提供します。

Digital River コマースプラットフォーム図



次の手順では、アーキテクチャについて説明します。

1. [Amazon CloudFront](#) を使用してコンテンツ配信を高速化します。静的コンテンツは CloudFront を通じて提供されます。Lambda@Edge は、動的コンテンツのエッジコンピューティングを提供します。ウェブサイトのセキュリティを保護および AWS WAF 提供します。
2. 転送中のデータセキュリティには<https://docs.aws.amazon.com/directconnect/latest/UserGuide/>、or AWS Site-to-Site VPN を選択します。
3. [Amazon EC2 Auto Scaling](#)、[管理ポータルhttps://docs.aws.amazon.com/amplify/latest/userguide/](#)、Lambda などの AWS サービスを使用して、business-to-business (B2B) またはdirect-

to-consumer (DTC) の e コマースウェブサイトフロントエンドを構築します。AWS エッジロケーションを介してフロントエンドを提供します。

4. [API Gateway](#)、Lambda、[Amazon Aurora](#)、[Amazon DynamoDB](#) を使用してヘッドレス e コマースアプリケーションとデータレイヤーを作成します。この共有マイクロサービスレイヤーは、ストアフロント、フルフィルメントパートナー、および とやり取りします Digital River。
5. Digital River マルチテナント SaaS レイヤーは、コアコマース機能を提供します。Amazon Relational Database Service、[Amazon Elastic Container Service](#)、Elastic Load Balancing、[Amazon OpenSearch Service](#)、[Amazon Route 53](#) などの AWS サービスで実行されます。
6. フルフィルメントパートナーは、フルフィルメントリクエスト、注文ステータスの更新、返品プロセスのためにヘッドレス e コマースレイヤーとやり取りします。
7. アプリケーションレイヤーは、企業ネットワーク上の既存の内部アプリケーションおよびサードパーティーアプリケーションと統合されます。ビジネスユーザーと既存のビジネスインテリジェンス (BI) およびエンタープライズリソースプランニング (ERP) day-to-day アクティビティをサポートします。
8. AWS Outposts は、1U と 2U のフォームファクタを使用して、ストアに AWS コンピューティングとストレージの機能を追加します。

詳細情報

詳細については、次のリソースを参照してください。

- [AWS アーキテクチャアイコン](#)
- [AWS アーキテクチャセンター](#)
- [AWS Well-Architected](#)

図の履歴

このリファレンスアーキテクチャ図に関する最新情報を受け取るには、RSS フィードにサブスクライブします。

変更	説明	日付
初版発行	リファレンスアーキテクチャ図が最初に公開されました。	2022 年 3 月 28 日

RSS サブスクリプションの要件

RSS 更新をサブスクライブするには、使用しているブラウザで RSS プラグインが有効になっている必要があります。

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。